



診断と治療

国立がん研究センター 乳腺外科

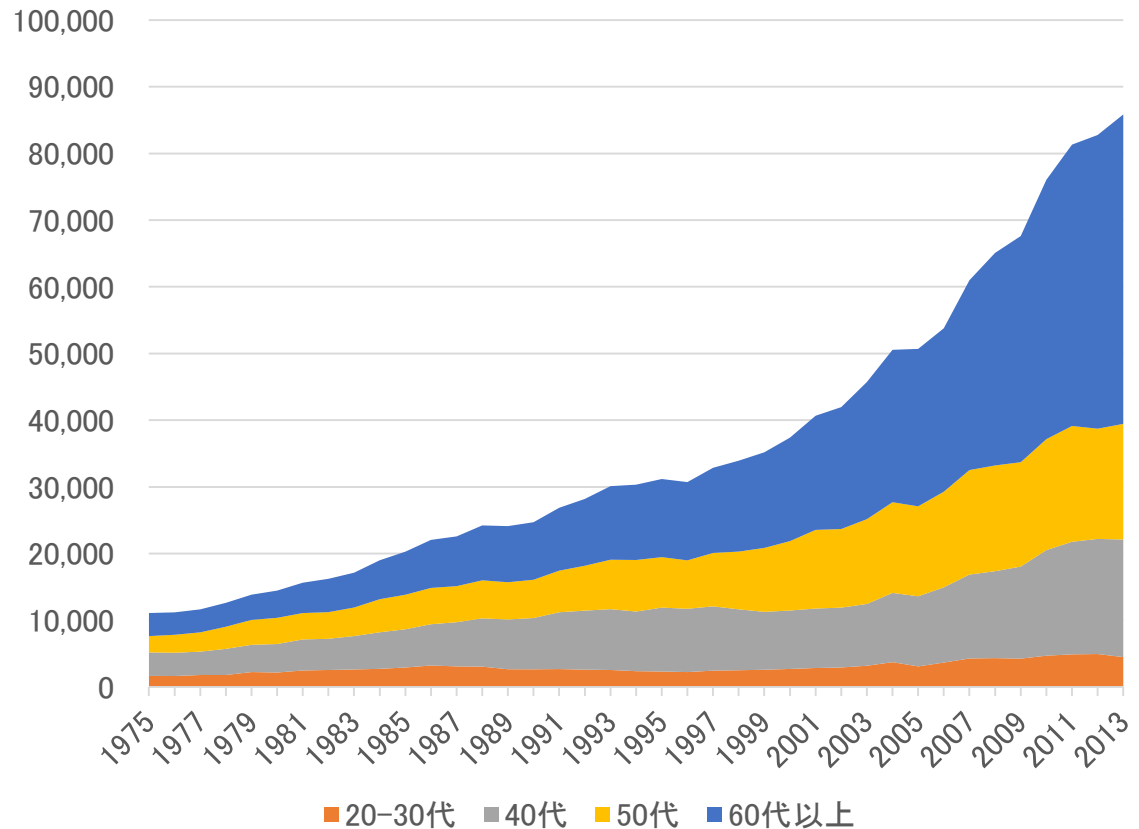
大西 達也

89,100 人

11人に1人

一年間で90,000人知覚の人が乳がんを患っているとされ、11人に1人の女性が生涯に乳がんを患うと言われています。さらにその数は徐々に増えています。

世代別乳がん罹患者数の推移



乳がんの症状



正常乳房



乳腺腫瘍



皮膚の引き攣れ



乳頭異常分泌



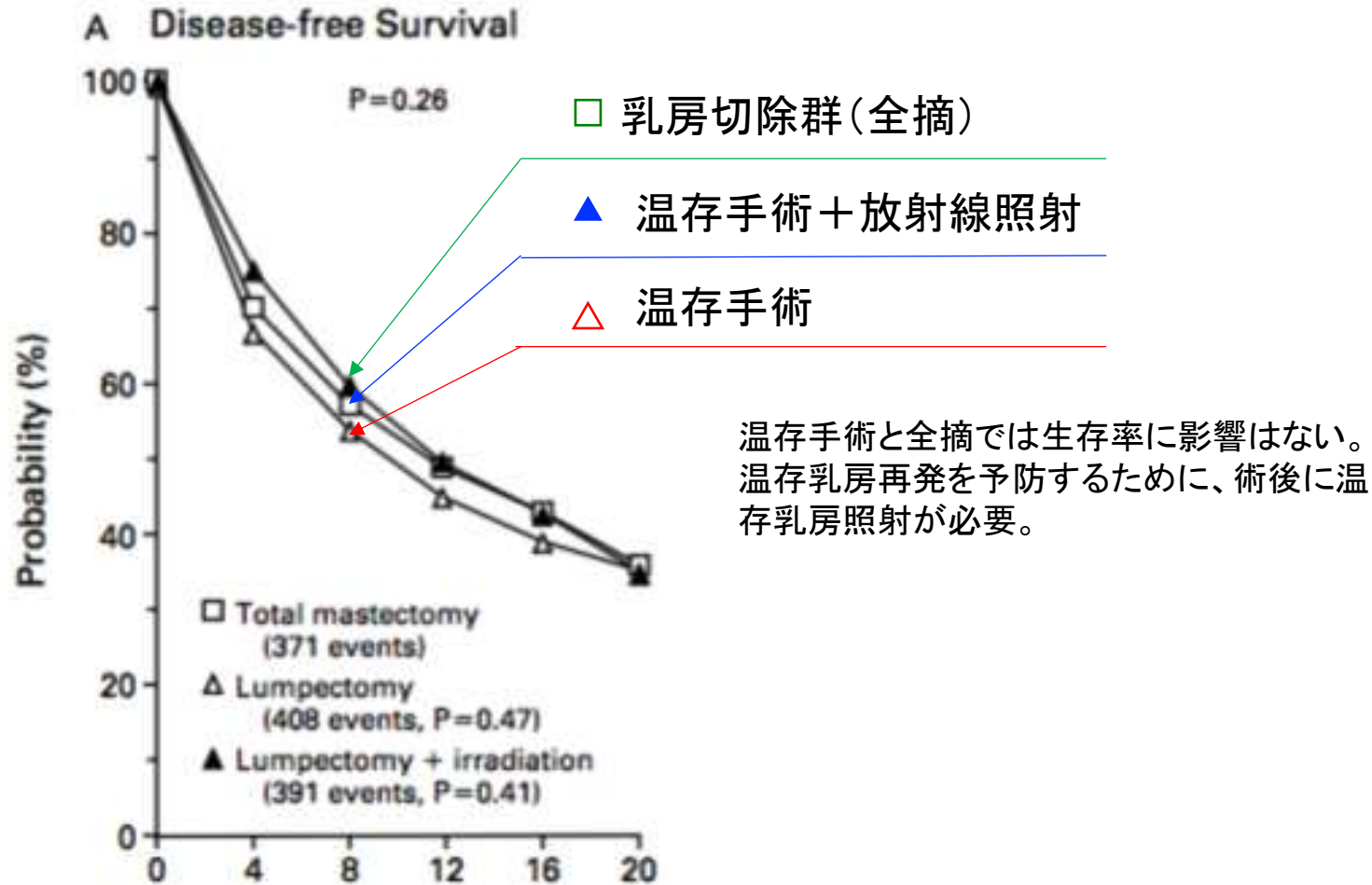
乳がんの診断



ほとんどの乳がんは乳管から発生します。
初期の段階ではがん細胞は乳管内にとどまっています(非浸潤性乳管がん)が、時間の経過とともに乳管外に浸潤(浸潤性乳管がん)します。
乳管外に浸潤したがん細胞は次第に血管やリンパ管に侵入し、全身へと広がっていきます。
非浸潤がんに対しては局所療法(手術や放射線)で十分なのにに対し、浸潤がんには局所療法に加え、全身への転移を防ぐために薬物療法(抗がん剤やホルモン療法)が必要になります。



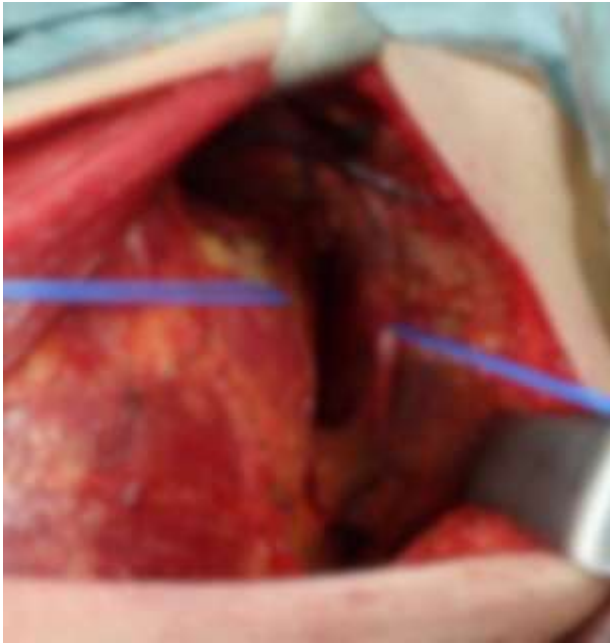
全摘と部分切除



Bernard Fisher, M.D., Jong-Hyeon Jeong, Ph.D., Stewart Anderson, Ph.D. et al., *N Engl J Med* 2002; 347:567-575 Twenty-Five-Year Follow-up of a Randomized Trial Comparing Radical Mastectomy, Total Mastectomy, and Total Mastectomy Followed by Irradiation

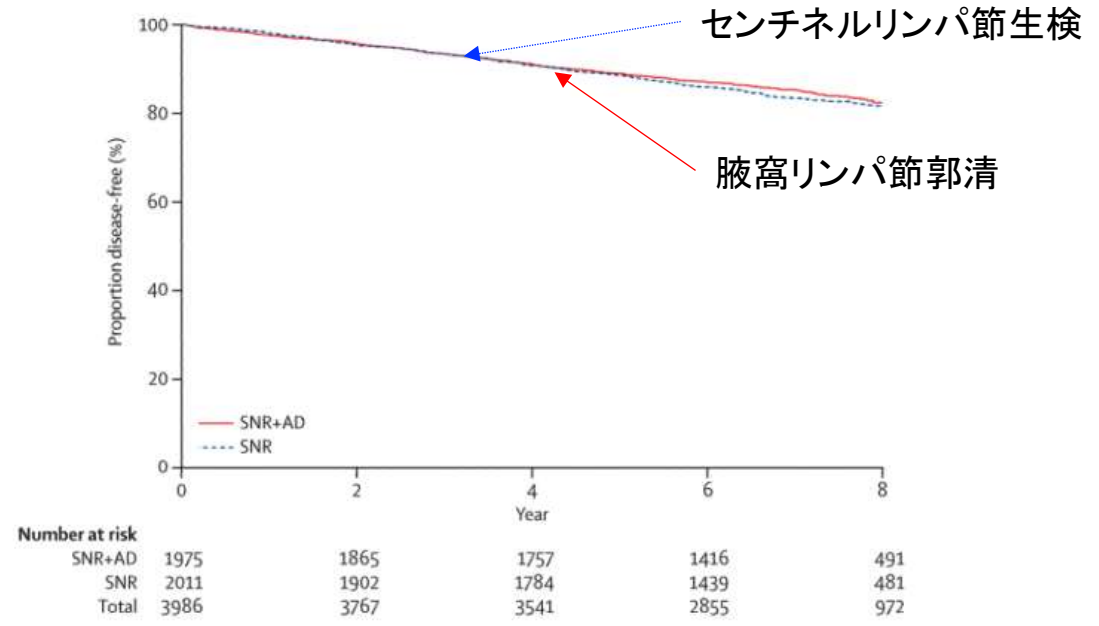


腋窩リンパ節郭清とセンチネルリンパ節生検



腋窩リンパ節郭清
腋窩リンパ節郭清を行うことで、上肢の挙上障害やリンパ浮腫、知覚障害などの後遺症が発生する。

センチネルリンパ節生検
センチネルリンパ節(がん細胞がはじめに転移するリンパ節)を手術中に生検し、がん細胞の転移が確認されなければ腋窩リンパ節郭清を省略する。腋窩リンパ節郭清に比べて後遺症が少ない。



Krag DN1, Anderson SJ, Julian TB et al; Sentinel-lymph-node resection compared with conventional axillary-lymph-node dissection in clinically node-negative patients with breast cancer: overall survival findings from the NSABP B-32 randomised phase 3 trial. . Lancet Oncol. 2010 Oct;11(10):927-33.



乳がんのサブタイプ

サブタイプ	臨床病理学的特徴	推奨される治療方針
ルミナル A	エストロゲン受容体 and/or プロゲステロン受容体陽性 HER2陰性 Ki67低値	ホルモン療法療法
ルミナルB(HER2陰性)	エストロゲン受容体 and/or プロゲステロン受容体陽性 HER2陰性 Ki67高値	ホルモン療法±化学療法
ルミナルB(HER2陽性)	エストロゲン受容体 and/or プロゲステロン受容体陽性 HER2陽性 Ki67低～高値	ホルモン療法＋化学療法＋抗HER2療法
HER2陽性	HER2陽性 エストロゲン受容体 and プロゲステロン受容体陰性	化学療法＋抗HER2療法
トリプルネガティブ	エストロゲン受容体 and プロゲステロン受容体陰性 HER2陰性	化学療法



遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)について

ある患者さんの場合



はい
祖母が乳がんで叔母が卵巣がんと聞いています。

ご家族や親戚の方で、**乳がん**や**卵巣がん**の方はいらっしゃいますか？



(遺伝の話もしないといけないね)

ご家族の中で乳がんや卵巣がんの方がいらっしゃる方や、若くして乳がんになられた方には**遺伝子が関連**している乳がんがあるとされています*1。

(また難しい話になってきた 嫌だなあ)

アンジェリーナジョリーさんのことはご存知ですか？
あの方はご家族の中に乳がんや卵巣がんの方が複数いらっしゃるため、**遺伝子検査**を受けられました。その結果、乳がんや卵巣がんになる確率が高いことが判明しました。
そのため**予防的に左右の乳房と卵巣を切除**されました。

(はあ 私とどう関係があるのかしら)





仮にあなたにも同様の遺伝子が関連している場合、**部分切除後の局所再発率が高くなる*2**とされています。

手術後に遺伝子を調べることもできますが、検査の結果で術式(全摘や同時乳房再建など)を選択される場合には、術前に検査を受けていただく必要があります。



(何か大変なことになってきた)

いつまでに決めてくればいいですか？

急には決められないと思いますので、一度ご家族とも相談して下さい。

急かすつもりはないのですが、手術までに決めていただく必要があります。

特に遺伝子検査と再建手術については準備に時間を要する場合がありますので、できれば早めに決めてください。

*1 3-5%, *2 17%

遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)をご理解いただくために(ver.3)より

HBOCの他にも乳がんに関連する遺伝性のがんとしてリー・フラウメニ症候群、カウデン症候群、リンチ症候群などが知られています。お心当たりのある方は主治医まで相談ください。

リー・フラウメニ症候群: 軟部組織腫瘍、乳がん、白血病、骨肉腫、黒色腫、大腸がん、副腎皮質がん、膵がん、脳腫瘍を伴う多発症候群

カウデン症候群: 甲状腺や乳腺、子宮内膜などの多発過誤腫

リンチ症候群: 大腸がん、子宮内膜がん(子宮体がん)、胃がん、小腸がん、肝胆道系のがんなど



乳がんの治療 = 進行度

- x 患者さんの希望
- x サブタイプ(乳がんのタイプ)
- x 遺伝的背景

乳腺外科では根治性を損なわないことを前提に、進行度、サブタイプ、患者さんの遺伝的背景や希望などを考慮して、患者さん一人一人にあった治療法を提案しています。
気になることがあれば、なんでもご相談ください。

